

## 地域の県立高校に関するアンケート調査の結果について

鈴鹿亀山地域、伊賀地域、松阪地域の活性化協議会では、今年度9月から10月にかけて、地域の公立中学校2年生の生徒、公立中学校2年生と公立小学校5年生の保護者を対象にアンケート調査を実施しました。

調査結果の概要は以下のとおりです。

### (1) 高校を選ぶときに重視する点（主なもの）

#### 【生徒】

	鈴鹿亀山	伊賀	松阪
学校の雰囲気・イメージ	53.1%	48.0%	49.0%
通学のしやすさ・距離	50.5%	49.8%	49.3%
文化祭や体育祭など学校行事が充実	47.6%	46.0%	42.4%
学びたい学科やコースがある	39.1%	42.7%	39.5%
入りたい部活動、部活動が活発	33.9%	35.3%	35.7%

#### 【保護者】

	鈴鹿亀山	伊賀	松阪
学びたい学科やコースがある	69.6%	71.2%	73.3%
通学のしやすさ・距離	69.3%	68.1%	64.4%
興味関心に応じて多様な選択ができる	58.7%	63.3%	59.4%
確かな学力を身につける授業の充実	38.9%	42.8%	39.2%
学校の雰囲気・イメージ	41.8%	35.6%	38.2%

### (2) 高校に期待する教育（主なもの）

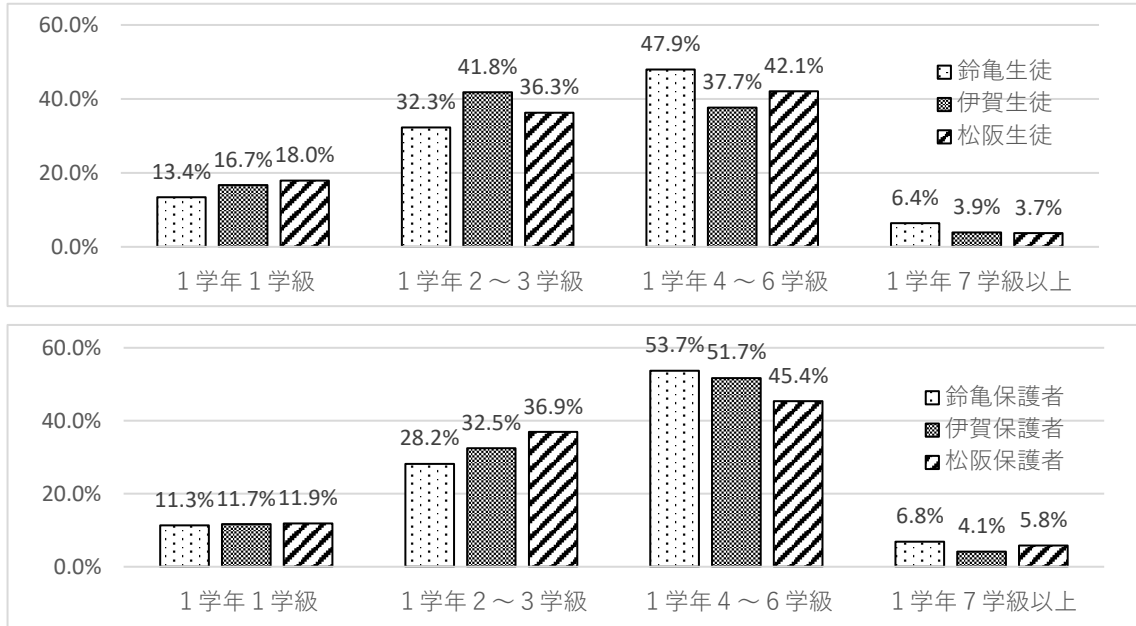
#### 【生徒】

	鈴鹿亀山	伊賀	松阪
自ら学び続ける力	52.0%	54.0%	52.6%
基本的な知識	48.0%	46.2%	43.1%
社会人として必要なマナーや責任感	46.9%	44.2%	42.0%
社会性やコミュニケーション能力など	42.0%	43.2%	40.1%
自ら問いを見つけ主体的に取り組む力	34.1%	32.3%	30.6%

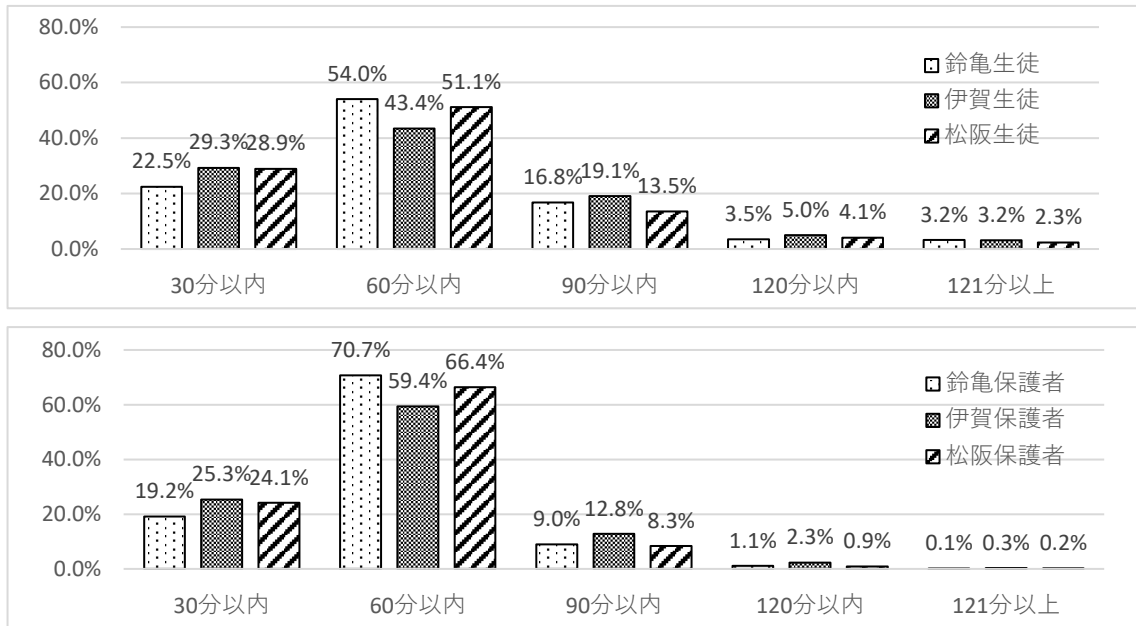
#### 【保護者】

	鈴鹿亀山	伊賀	松阪
自ら学び続ける力	58.5%	59.5%	61.0%
社会性やコミュニケーション能力など	58.5%	58.8%	60.7%
自ら問いを見つけ主体的に取り組む力	50.4%	51.8%	53.6%
多様な選択肢から進路を決定する力	49.6%	52.9%	49.0%
社会人として必要なマナーや責任感	46.1%	44.1%	47.1%

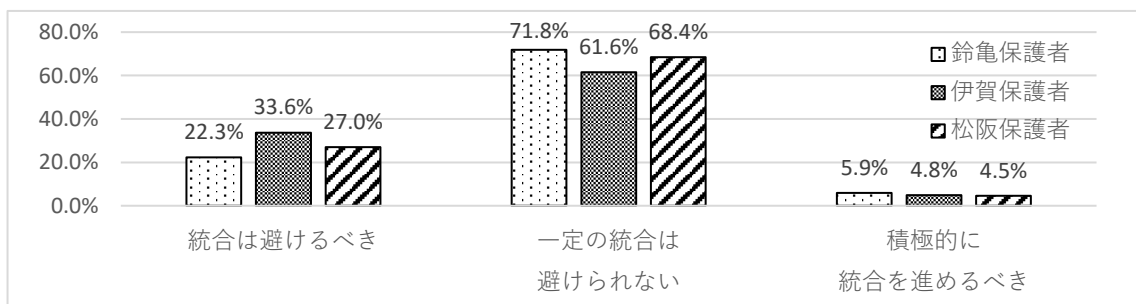
### (3) 希望する学校規模



### (4) 許容できる通学時間



### (5) 今後の地域の県立高校のあり方



## 伊勢志摩地域の県立高校に関するアンケート結果について

### 1 中学生を対象としたアンケート結果

#### A 学びについて

(高校を選ぶとき、学習面で重視すること)

- ・「進学や就職など多様な進路に応じた学習の選択ができること」(45.1%)、「就職につながる専門的な知識や技能、資格が習得できる」(29.3%)、「大学進学につながる学力向上を目指した学習ができる」(25.6%)の順となっている。

(高校を選ぶとき、学校生活全般で重視すること)

- ・「文化祭や体育祭などの学校行事」(66.5%)、「確かな学力を身につける授業」(65.5%)に続いて、「多くの友だちや先生と出会える」(55.9%)、「通学のしやすさ」(54.2%)を重視している。

(高校に期待する教育)

- ・「自分の将来を選択する力が身につく教育」(75.3%)をはじめ、「社会性や協調性、コミュニケーション能力が身につく教育」(64.3%)、「基本的な知識が身につく教育」(58.6%)、「社会人として必要なマナーや礼儀・責任感が身につく教育」(58.3%)を期待している。

#### B 学級の規模について

- ・選んだ生徒が多い順に「3～4学級」(49.0%)、「1～2学級」(25.8%)、「5～6学級」(21.1%)、「7学級以上」(4.0%)となっている。
- ・生徒の多くが学びたい学級規模に関係なく、選んだ理由を「友だちや先輩、先生など、多くの出会いがあると思うこと」(50.5%)としている。

#### C 通学時間について

- ・選んだ生徒が多い順に「31～60分」(52.7%)、「30分以内」(26.3%)、「61～90分」(16.6%)、「91～120分」(2.8%)、「121分以上」(1.6%)となっている。

#### D 高校での地域の学習について

- ・選んだ生徒が多い順に「別の分野について」(37.2%)、「高校が所在する市町」(31.9%)、「伊勢志摩地域全体」(30.3%)となっている。

#### E 将来生活する場所について

- ・「まだ、決まっていない。わからない」(34.8%)が最も多く、続いて、「県外」(23.5%)、「一度は地元を離れても、いつかは戻りたい」(16.4%)、「地元」(13.5%)となっている。

## 2 保護者を対象としたアンケート結果

### A 学びについて

(高校を選ぶとき、学習面で重視すること)

- ・「進学や就職など多様な進路に応じた学習の選択ができること」(63.0%)に続いて、「大学進学につながる学力向上を目指した学習ができる」(21.4%)、「就職につながる専門的な知識や技能、資格が習得できる」(14.4%)となっている。

(高校を選ぶとき、学校生活全般で重視すること)

- ・「確かな学力を身につける授業」(67.8%)をはじめ、「通学のしやすさ」(61.9%)、「多くの友だちや先生と出会える」(57.2%)、「一人ひとりに目が届きやすく、きめ細かな教育」(51.1%)を重視している。

(高校に期待する教育)

- ・「社会性や協調性、コミュニケーション能力を育む教育」(73.5%)をはじめ、「進路選択の力を育む教育」(63.6%)、「社会人として必要なマナーや礼儀・責任感が身につけることができる教育」(63.3%)、「主体的に学び続ける力を育む教育」(59.0%)を期待している。

### B 15年先の伊勢志摩地域の県立高校のあり方について

- ・今後の伊勢志摩地域の高校について、「一定の統合は避けられない」(52.2%)が最も多く、続いて、「統合は避けるべき」(29.3%)、「必要な統合を進めるべき」(12.2%)となっている。

### C 通学時間について

- ・選んだ保護者が多い順に、「31～60分」(62.9%)、「30分以内」(19.1%)、「61～90分」(13.6%)、「91～120分」(1.9%)、「121分以上」(0.4%)となっている。

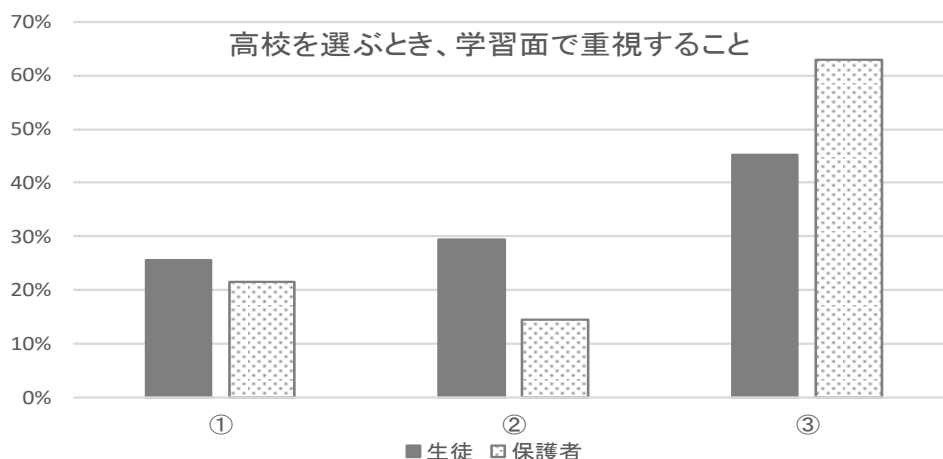
### D 将来生活する場所について

- ・「本人の希望次第」(68.7%)が最も多く、続いて、「地元」(11.2%)、「一度は地元を離れても、いつかは戻ってほしい」(8.1%)となっている。

### 3 生徒と保護者の回答の比較 (中学生 1,538 人、保護者 1,391 人)

(1) 高校を選ぶとき学習面で重視すること (回答は1つ、( ) は各回答者数に対する割合)

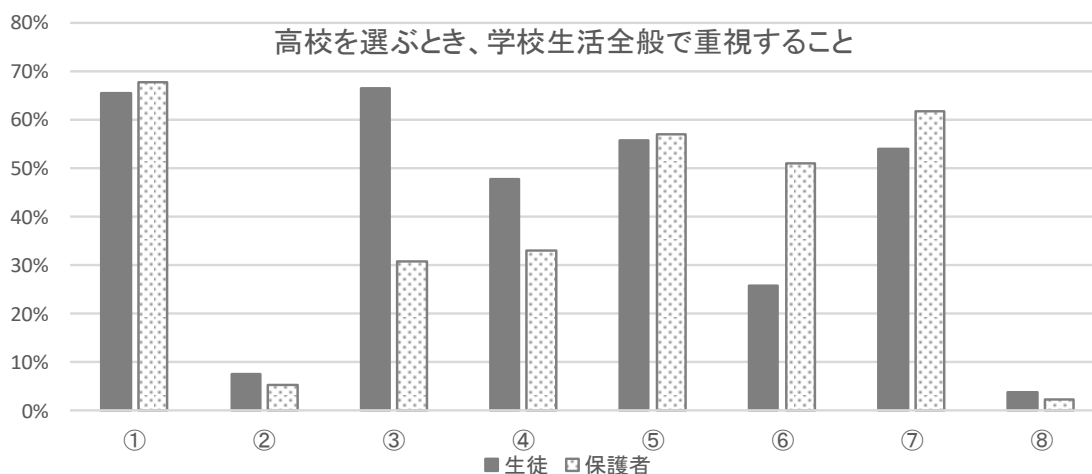
項目	生徒	保護者
①大学進学につながる学力向上を目指した学習ができる	393 (25.6%)	298 (21.4%)
②就職につながる専門的な知識や技能、資格が取得できる	451 (29.3%)	200 (14.4%)
③進学や就職など多様な進路に応じた学習を選択することができる	694 (45.1%)	876 (63.0%)



(2) 高校を選ぶとき学校生活全般で重視すること

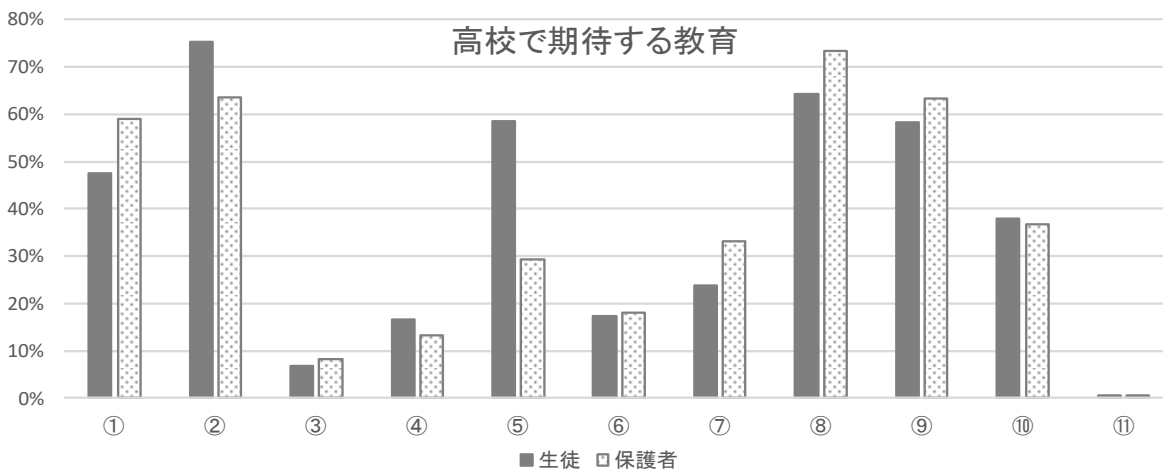
(回答は4つ以内、( ) は各回答者数に対する割合)

項目	生徒	保護者
①確かな学力を身につける授業が充実している	1007 (65.5%)	943 (67.8%)
②地域に密着した活動がある	117 (7.6%)	75 (5.4%)
③文化祭や体育祭などの学校行事が充実している	1023 (66.5%)	429 (30.8%)
④入りたい部活動がある	735 (47.8%)	460 (33.1%)
⑤多くの友だちや先生と出会うことが期待できる	859 (55.9%)	795 (57.2%)
⑥一人ひとりに目が行き届きやすく、きめ細かな教育が期待できる	398 (25.9%)	711 (51.1%)
⑦通学しやすい	833 (54.2%)	861 (61.9%)
⑧その他	59 (3.8%)	32 (2.3%)



(3) 入学する高校に期待する教育 (回答は5つ以内、( )は各回答者数に対する割合)

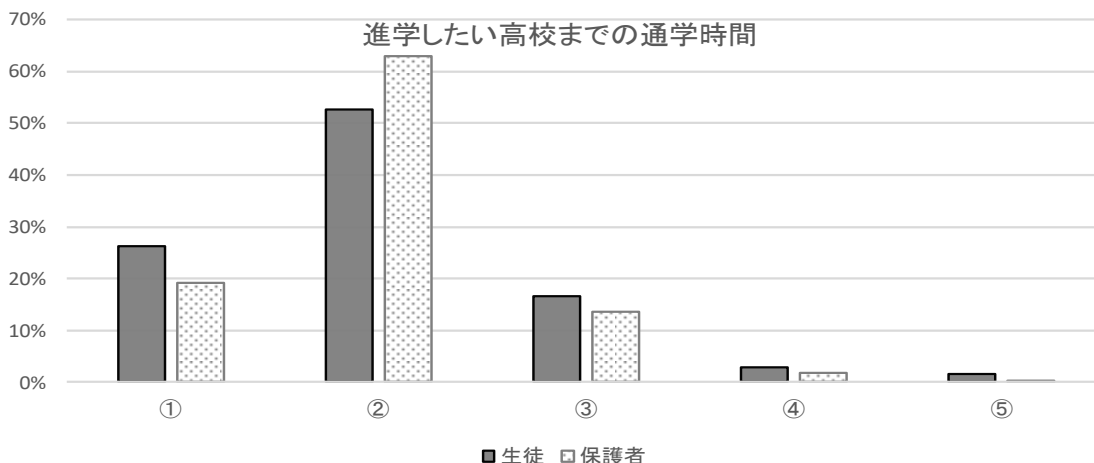
項目	生徒	保護者
①自ら学び続ける力が身につく教育	731 (47.5%)	820 (59.0%)
②自分の将来を選択する力が身につく教育	1158 (75.3%)	885 (63.6%)
③地域について学ぶ教育	103 ( 6.7%)	116 ( 8.3%)
④人権に対する意識が高まる教育	257 (16.7%)	185 (13.3%)
⑤基本的な知識が身につく教育	901 (58.6%)	408 (29.3%)
⑥ICTを積極的に活用する教育	267 (17.4%)	252 (18.1%)
⑦広く世界で活躍できる力が身につく教育	366 (23.8%)	462 (33.2%)
⑧社会性や協調性、コミュニケーション能力が身につく教育	989 (64.3%)	1022 (73.5%)
⑨社会人として必要なマナーや礼儀・責任感が身につく教育	897 (58.3%)	880 (63.3%)
⑩特別活動や部活動などを通じて豊かな人間性が身につく教育	584 (38.0%)	511 (36.7%)
⑪その他	10 ( 0.7%)	9 ( 0.6%)



(4) 進学したい高校までの通学時間はどれくらいまでなら可能か。

(回答は1つ、( )は各回答者数に対する割合)

項目	生徒	保護者
①30分以内	405 (26.3%)	266 (19.1%)
②31～60分	811 (52.7%)	875 (62.9%)
③61～90分	255 (16.6%)	189 (13.6%)
④91～120分	43 ( 2.8%)	27 (1.9%)
⑤121分以上	24 ( 1.6%)	6 ( 0.4%)



## 4 アンケート結果より

### (1) 学び等、高校で重視したいこと

(ア) 中学生、保護者の少なくとも一方の割合が60%以上の項目（3選択肢から1つ選択）

① 進学や就職など多様な進路に応じた学習を選択できる教育

中学生 694 人 (45.1%) 保護者 876 (63.0%)

(イ) 中学生、保護者の少なくとも一方の割合が50%以上の項目

(8選択肢から4つまで選択、11選択肢から5つまで選択)

① 自分の将来を選択する力が身につく教育

中学生 1158 人 (75.3%) 保護者 885 人 (63.6%)

② 社会性や協調性、コミュニケーション能力を育む教育

中学生 989 人 (64.3%) 保護者 1022 人 (73.5%)

③ 確かな学力を身につける授業が充実している

中学生 1007 人 (65.5%) 保護者 943 人 (67.8%)

④ 文化祭や体育祭などの学校行事が充実している

中学生 1023 人 (66.5%) 保護者 429 人 (30.8%)

⑤ 社会人として必要なマナーや礼儀・責任感が身につく教育

中学生 897 人 (58.3%) 保護者 880 人 (63.3%)

⑥ 通学しやすい

中学生 833 人 (54.2%) 保護者 861 人 (61.9%)

※通学時間は、中学生と保護者とも「31～60分」が最も多く選ばれている

⑦ 自ら学び続ける力が身につく教育

中学生 731 人 (47.5%) 保護者 820 人 (59.0%)

⑧ 基本的な知識が身につく教育

中学生 901 人 (58.6%) 保護者 408 人 (29.3%)

⑨ 多くの友だちや先生と出会うことが期待できる

中学生 859 人 (55.9%) 保護者 795 人 (57.2%)

⑩ 一人ひとりに目が届きやすく、きめ細かな教育が期待できる

中学生 398 人 (25.9%) 保護者 711 人 (51.1%)

#### ※地域学習について

・高校を選ぶときに重視すること：地域に密着した活動がある

中学生 117 人 (7.6%) 保護者 75 人 (5.4%)

・期待する教育：地域について学ぶ教育

中学生 103 人 (6.7%) 保護者 116 人 (8.3%)

・高校での地域の学習について

中学生：進学した高校が所在する市町について学んでみたい 490 人 (31.9%)

：伊勢志摩地域全体のことについて学んでみたい 466 人 (30.3%)

### (2) 配置について

(ア) 中学生が望む高校の学級規模とその理由

・規模 ① 3～4学級 754 人 (49.0%) ② 1～2学級 397 人 (25.8%)

③ 5～6学級 325 人 (21.1%) ④ 7学級以上 62 人 (4.0%)

・理由 ① 多くの出会い 776 人 (50.5%) ② 関係の深まり 381 人 (24.8%)

③ 多様な選択 216 人 (14.0%) ④ 一人ひとりへのサポート 124 人 (8.1%)

⑤ その他 41 人 (2.7%)

(イ) 保護者が考える15年先の伊勢志摩地域における高校のあり方の方向性

① 一定の統合は避けられない 726 人 (52.2%)

② 統合は避けるべき 408 人 (29.3%)

③ 必要な統合を進めるべき 170 人 (12.2%)

※無回答 87 人 (6.3%)